

競技注意事項

ここで示す注意事項は競技運営には欠かすことのできない、必須事項ですので熟読いただき、競技運営が円滑にできますようご協力願います。

*新型コロナウイルスへの対応

新型コロナウイルス感染防止のため、下記の通りの行動基準を設けますので指示に従い参加すること。・競技会当日の観客入場は制限致しませんが入場ゲートは正面東側屋外階段のみとなります。

- ・マスク装着は更衣室以外参加者夫々の判断とする。
- ・参加者個人の体調管理シートの提出は不必要とする。
- ・参加当日の体温は自己責任で 37.5℃未満であることを前提とする。
- ・更衣室は使えるがマスク装着にてソーシャルディスタンスを確保すること。
- ・競技者は脱衣が終われば正面スタンドに移動して控えること。
- ・スタジアム内1階のフィールドコーナーにある通路部分には跳躍種目競技者以外は入れない。(競技者以外は全て正面スタンドで観戦する)
- ・競技終了後のリザルトは正面掲示板で閲覧すること。記録は即ネットでも検索できる。
- ・賞状の授与式は行わない。(特設コーナーから自己判断で持ち帰ること、また持ち帰らない場合は主催者で処分する)

1. 競技規則について

本大会は、2023年(公財)日本陸上連盟規則、日本マスターズ陸上競技連合規則、第22回東海マスターズ陸上競技選手権大会およびこの競技注意事項により実施する。

2. 競技者受付について

競技に出場する競技者は(以下競技者という)競技者招集所(第4コーナー器具庫前)において競技者係に出場の手続きを行い、点呼を受けなければならない。その手続きは下表の定められた時刻に必ず下記の手続きを行うこと。

①招集時刻は、プログラム日程に示された競技開始時刻を基準に下記の時刻とする。

種目	性別	招集開始時刻	招集所完了時刻
トラック競技	各クラス・各種目	競技開始時刻 30 分前	競技開始時刻 20 分前
フィールド競技	各クラス・各種目	競技開始時刻 50 分前	競技開始時刻 40 分前
棒高跳競技	各クラス	競技開始時刻 90 分前	跳躍場所へ即集合
リレー競技	チームオーダー用紙	・・・・・・・・・・	競技開始時間 60 分前

- ②招集は競技者本人が出場する意思を申告するものであり、代理者の招集は認めない。
- ③上記の手続きを終了した競技者は、指定された場所で待機して(棒高跳び除く)、最終点呼を受けて係員の指示により入場する。
- ④同時刻帯に他の種目に出場する場合で重複種目の招集時刻に手続きが困難の場合は先行種目の招集時刻に同時招集が出来る。

- ⑤招集完了時刻までに所定の手続きを完了しない競技者は、当該種目を棄権したものと
とする。(救済は一切しない)

3. 練習について

- ①練習は投擲競技の練習試技および走高跳・棒高跳の練習試技を除きすべて補助競技
場で行う。
②投擲競技の練習試技および跳躍競技の練習試技は競技ピットに入場後、審判員の指
揮により2回まで練習ができる。

4. 競技について

- ・アスリートビブスは自県登録番号を胸部および背部に安全ピンで固定し取り付ける。
- ・トラック競技に於いては、写真判定用の腰ナンバーを招集所で貸与するので、必ず
右側に固定する。ゴール後速やかに外し、腰ナンバー回収係の指示に従い回収箱に
入れること。
- ・草薙競技場規則により、補助競技場含めてスパイクピンの長さは、トラック9mm
以下、フィールドは12mm以下の競技用のスパイクを使用すること。
- ・招集所において競技用厚底シューズの検査(h25mm)を受け出走する。
- ・スパイクを履いたまま、建物運営ゾーンに入らないこと。
- ・トラック競技者はスタート位置以外の走路外でスパイクを履いたまま、スタート
ダッシュは禁止する。
- ・ハードルのスタート前練習は2台までとする。
- ・走幅跳の踏切板は規定の2mで行う。なおMの三段跳の踏切板は13m・11m・9m・
とする。
但しM80歳以上は7mの臨時踏切板、W三段跳の踏切板は11m・9m・7m・とする。
但しW80歳以上は5mの踏切板を使用できる。尚、MW80以下でも臨時踏切の使
用が必要であれば試技前に審判員に申告して変更ができる。尚、MW80以下でも試
技前に審判員に申告してMWの基準に従い試技できる。ラウンド中の変更は認め
られない。
- ・トラック競技は全てタイムレース着順判定は写真判定装置で行うが同記録の場合は
生年月日の早いものを上位とする。
- ・800m以上の競技はオープンレーンとする。
- ・長距離種目はM/Wとも制限時間を設ける。3000m20分・5000m30分・3000Wm30
分としこれを超過した場合は次の周回には入れない。
- ・短距離レースのフィニッシュ後は安全のため自分のコースを曲走路トップまで走
る。
- ・リレーについては、年齢の高い競技者が低いクラスの走者となることができる。但
し2名は当該クラスに属すること。
- ・リレー代表者は競技者係からオーダー用紙を受け取り、必要事項を記入の上、競技
者係に競技開始1時間前に提出する。
- ・不正スタートは1回目で失格となる。
- ・スタート言語は英語が原則となる。
- ・スタート方法400m以下はM・Wともクラウチングスタートとする。
- ・フィールド競技の持ち時間は30秒となる。

- ・ 高さの跳躍競技において、最低のバーの高さは以下の通りとする。M 走高跳 100 cm・W80 最初のバーの高さおよび上げ幅は日本マスターズ規則に従う。
- ・ 立五段跳の踏切板は M5m・7m・9m・11m・13m W5m・7m・11m とする。
- ・ 投擲競技の用器具の重量およびハードル競技の高さ、インターバルは全日本マスターズ競技連盟の規則に準ずる。別表規格表を参照ください
- ・ 投擲競技はすべて競技場備え付けの器具を使用する。
- ・ 跳躍競技（走高跳を除く）および投擲競技の試技は 3 回でトップ 8 を決めた後 1 回の決勝トライで順位が決まる。（4 回試技）
- ・ 競技に於いて優勝者が同順位の場合は年齢差により決定する。
- ・ 本競技会は事故防止のため「競技の出場又は続行が危険」と判断した場合はセーフティ審判員が競技の中止を勧告するので従わなければならない。判定に従わない場合は記録や順位は認めない。
- ・ 競技終了後に判明した日本記録・世界記録誕生の場合は迅速に大会本部記録担当総務員に必要事項を添付し申請すること。（トラック競技についての事後申し出は写真判定リザルト再生が困難になる）
- ・ 本競技会における抗議については、記録発表後 15 分以内に総務員に申告し協議の上判定する。上訴する場合は競技者が上訴申立書を提出し現金 1 万円預託する。預託金は上訴が認められないときは返却されない。
- ・ 助力行為や持ち物など広告規制については日本陸上競技連盟規則に準じて規制する。

5. 表彰について

- ・ 東海 5 県競技者各種目・各年齢クラスの 1 位～3 位に賞状・1 位のみ金メダルを授与する。東海五県外競技者はオープン参加とし記録は公認するが順位はつけない。
- ・ 記録証は希望者に 1 種目 500 円で交付します。

6. その他について

- ・ 今大会の競技中に発生した疾病は医務室で応急処置を行うがその後の医療行為は負わない。万一に備え 1 日リクレーション保険に加入するので、保険証持参すること。
- ・ 競技中に発生した傷害でテーブ施術が必要な方はテーブ持参で医務室において対応する。
- ・ 事前に健康診断を受けて、自己の健康に十分留意して出場する事。
- ・ 本大会参加者で静岡市内に宿泊者はチェックアウト時に宿泊証明書（ホテル任意）を受け取り大会受付時に提出すること。
- ・ 紙屑、弁当ガラなどのごみは「来た時より綺麗」をモットーに、持ち帰り運動にご協力ください。
- ・ この大会の詳細情報は 5 月初旬静岡マスターズホームページに掲載しますので閲覧して間違いないように参加下さい。（競技時刻・競技注意事項・大会開催可否）

7. 個人情報保護法について

本大会主催者はこの大会に参加する総ての競技者の個人情報を競技運営に必要とする要件などに利用する。また競技者は大会プログラム・インターネットおよび映像（肖像権）に姓名・年齢・所属および大会成績が掲載・転載により公開される事を承知願います。

—別表—

(1) ハードル競技の種目基準は次の通りとする。

クラス	種目	高さ	間隔	第1Hまで	フィニッシュまで	台数
M24-M30	110mH	0.991m	9.14m	13.72m	14.02m	10
M35～M45	110mH	0.991m	9.14m	13.72m	14.02m	10
M50・M55	100mH	0.914m	8.50m	13.00m	10.50m	10
M60・M65	100mH	0.840m	8.00m	12.00m	16.00m	10
M70・M75	80mH	0.762m	7.00m	12.00m	19.00m	8
M80～	80mH	0.686m	7.00m	12.00m	19.00m	8
W-24～W35	100mH	0.840m	8.50m	13.00m	10.50m	10
W40～W45	80mH	0.762m	8.00m	12.00m	12.00m	8
W50～W55	80mH	0.762m	7.00m	12.00m	19.00m	8
W60～W75	80mH	0.686m※	7.00m	12.00m	19.00m	8

※ 0.686cmは小学生 70.0cmで代用可

(2) 投擲競技種目別用器具は次の通りとする。

性別	クラス	砲丸	円盤	やり	ハンマー
男子	M 24-～	7.26kg	2.0kg	800g	7.26kg
	M 30・M35	7.26kg	2.0kg	800g	7.26kg
	M40・M45	7.26kg	2.0kg	800g	7.26kg
	M50・M55	6.0kg	1.5kg	700g	6.0kg
	M60・M65	5.0kg	1.0kg	600g	5.0kg
	M70・M75	4.0kg	1.0kg	500g	4.0kg
	M80～	3.0kg	1.0kg	400g	3.0kg
女子	W-24～	4.0kg	1.0kg	600g	4.0kg
	W25～W45	4.0kg	1.0kg	600g	4.0kg
	W50・W55	3.0kg	1.0kg	500g	3.0kg
	W60・W70	3.0kg	1.0kg	500g	3.0kg
	W75	2.0kg	0.75kg	400g	2.0kg
	W80+	2.0kg	0.75kg	400g	2.0kg

(3) 走高跳のバーの上げ方

性別	クラス	練習	バーの上げ幅
男子	M24-～M35	1.35	1.40・1.45 以降 5cm
	M40・M45	1.25	1.30・1.35 以降 5cm
	M50	1.20	1.25・1.30 以降 5cm
	M55	1.10	1.15・1.20 以降 5cm
	M60・M65	1.00	1.05・1.10 以降 5cm
	M70・M75・M80+	0.95	1.00・1.05 以降 5cm
女子	W24-W25	1.20	1.25・1.30 以降 3cm
	W35	1.10	1.15・1.20 以降 3cm
	W40	0.95	1.00・1.05 以降 3cm
	W45・W50	0.85	0.90・0.95 以降 3cm
	W55・W60	0.80	0.85・0.90 以降 3cm
	W65・W70・W75・W80+	0.75	0.80・0.85 以降 3cm

審判長の判断により高さを変更する場合がある。

(4) 棒高跳

性別	クラス	練習	開始の高さ	上げ幅
男子	M-24～M35	2.60	2.70	10cm
	M40	2.40	2.50	
	M45	2.30	2.40	
	M50	2.10	2.20	
	M55	1.90	2.00	
	M60	1.70	1.80	
	M65	1.60	1.70	
	M70	1.50	1.60	
M75～	1.40	1.50	5cm	
女子	W-24～W35	1.60	1.70	10cm
	W40	1.50	1.60	
	W45	1.40	1.50	
	W50～W55	1.30	1.40	
	W60～	1.20	1.30	5cm

審判長の判断により高さを変更する場合がある。